



本館最上階7階の東棟・西棟をつなぐ回廊図書館「コリドール」。清澄庭園を一望でき、紅葉の季節には地域の人に開放している



清澄白河の大家族

多くの人が集まるオープンな学校で人生の進む路を形づくる



中村中学校・高等学校



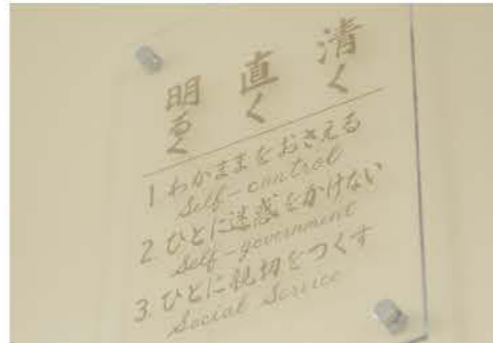
古くから地域の一員として情緒豊かな下町に根付いてきた中村中学校・高等学校。大鵬道場大嶽部屋での稽古見学や地域の人と協同したイベント開催など、その交流は生徒の社会性を伸ばしている。世界共通言語として芸術（フルート）・スポーツ（フライングディスク）・語学に力を入れ、高校で長期留学のできる国際科もいち早く設立。校訓の「清く、直く、明るく」を体現している生徒たちには無限の未来が広がっている。



バレーボールの国際公式試合に合致した規格。海外のナショナルチームも練習に利用する



体育祭の目玉 応援合戦の構想を練る6年生



2012年に建てられた新館LADYのCAFE MiyaKoDori



同キャリアプログラムは平成25年度キャリア教育優良校として全国94団体中、唯一の私立中高一貫女子校として文部科学大臣に表彰された。(梅沢校長)

生徒に将来の夢を尋ねると、「中学校に入ってから好きなことを仕事につなげたいと思うようになりました」と口をそろえる。「英語を活かして海外で働きたいと考えています」と中島愛実さん(中3)。伝統のバレー部で厳しい練習に励む鈴木那那さん(中3)は、「けがをしたときにテーピングを工夫した経験もあり、スポーツインストラクターに興味があります」。また牧田さんは「キャリアデザインでいろいろな職業を知ったので、まだ迷って…。職業体験で経験した雑誌の編集も面白そうだし、テレビ関係や海外で働くのも楽しそう」と夢いっぱい。

好きなことを未来につなげる

一方で、チャイムのない学校生活や能率手帳の導入で、時間やスケジュールを自己管理する習慣をつけ、社会の一員として欠かせない自律の力を培う。「子どもは家庭で親や兄弟、友達や近所の人々と接することで成長しますが、当校も同じです。生徒に教職員や保護者が寄り添い、地域の方々があたたい目で見守る。中村はいろいろな人が集まる大家族です。学校内外のさまざまな人と交流することで、地域の、そして社会の一員としての自覚が芽生え、高いコミュニケーション能力をもった生徒が育つんです」と梅沢校長。人情あふれる下町から伸びていくそれぞれの道。中村生の可能性は無限に広がっている。



能率手帳でしっかり自分の予定を管理する

高校、大学、そして社会へ——
「30歳の私を考える」キャリア教育

清洲橋通りから清澄庭園へと道を曲がった瞬間、ふわりと春の香りに包まれた。さわさわと満開のつじや新緑の香りを運んでくる風。建物に遮られることなく穏やかな陽だまりをつくる太陽。明るく心地いい空気。中村のイメージにピッタリと重なった。教育の中心に据えているのは2002年度にスタートした「30歳の自分を考える」キャリア教育だ。日本人女性の平均寿命は約86歳。卒業後の70年近い人生をのびのび進んでいくための根や幹を育てるのが中村のキャリアデザインです」と話すのはキャリアセンター長の前岡克美教諭だ。同校では中1で自己・他者理解、中2で社会の仕組みを知るための職業体験、中3で高校卒業後の進路を考える職業研究…と徐々に社会との関わりを広げ、6年間で将来の夢を明確にしていくキャリアプログラムを実施している。中でも一番の根となるのが、生徒一人ひとりの自己肯定感だという。

「自分の短所を友達の見方から見てもうグループワークをすると、『優柔不断なところが嫌』との自己否定に対して『慎重で思慮深いから頼りになる!』という肯定感が返ってくる。自分が人から認められる大切な存在だと気づくと同時に、人や物事をいろいろな側面から見る力、そして他者を受け入れる力が伸びていきます」と前岡教諭。また、相手の心をほっこりさせる言葉使いやグループワークを頻繁に設け、人間関係を育む力を養うとともに、自分の意見を積極的に発信できる環境を作っている。こまめに行われる担任との面談では、家庭や人間関係の悩みだけでなく、夢についても話し合う。卒業生からは「面談のたびに先生がきっかけを作ってくれるので自然と将来を考えるクセができました」という声が届けられるそうだ。

しかし、思春期の生徒たちは本音を語るのに抵抗がないのだろうか。「学期初めの宿泊行事でクラスのみならず仲良くなれますし、毎年クラス替えがあるので学年全員が友達です。お互いの良いところも悪いところもバシバシ言い合える明るく伸び伸びした雰囲気大好きです」と話してくれたのは牧田紗季さん(中3)。今年度の抱負を発表していた高2のクラスでも「去年英語で〇点が取れなかったのが今年度は〇点を目指します」と不得意な部分もオープンに発表。クラスの仲間も「がんばれ〜!」と笑顔で声援を送る。多くの生徒が「友達・身近な人を大切にします」と述べるなか、学校全体に居心地の良い朗らかな空気が流れている。



インタビューに答えてくれた三人。能率手帳と一緒に

